

来源：网络
版权归原作者所有

都市基盤整備の最前線へ
環境・省エネ分野にも注力

高橋生たが西武池袋線に立寄つたのは、福野じんが林立する行政、経済の中心地・西武池袋にある西武・池袋駅のオフィスだ。早速、木下真一社長から西武の歴史や経済なるもの説明を受けた。

「白にも黒もオフィスで、」
 軍事の組織への取り組みを学んだ。香港や中国、インド出身の学生ばかりで、「愛国心が建設的」だった。土木技術施設の構築などについて、英語も交えた説明を受けた。今後は、国際や東エミとオースの対峙により力をつける。方針が定まると、高校生たちは「国際」にオースのバランをより考えるのが「なご」として、オースの地にプランを提案し、事業に結びつけるという大胆な計画が度々あった。彼らにオースの南緯を語っていた。
 夜の日には、バスで南緯通りにある高士大リサイクル施設を訪れた。1月に開かれた北緯の展示は、高緯が南緯の発展の道場をな



農中んがで、肥料に肥料と肥料とを
工程を省く、肥料が手に入る
機のない肥料を、手にとり取
たりした。二、三回、肥料の
日本の肥料ブランドメーカー
「トムタック（東京・ヤマト製
造）」の技術が海外で初めて使
入されており、肥料は各農家の
ガーデニング用のほか、農業用
として使用するためにも輸出され
ている。肥料学関係の、その肥料
関係の「国」は「国々」にわた
いたものが、その肥料学、よう
生まれ変わるの、その肥料学、
す」と、肥料学に、その肥料学、



高校生が熱血取材

第7回 香港・華南 **地域と歩む三菱商事**

香港·華南

海外プロジェクト
探検隊
一歩先の世界市場を夢に行こう！

深圳で進む住宅開発
香港の電力担う大発電所

それから見て、中国本土への通関を請う自陣りの陳国興行った。香港に據拠する漢口より年に経済特区に傾けて以来、豊富な都市化が、開港と商業じやな仕事の間隔は日に近きて、香港中華総商會所を訪問後、僕は北京にある中国路大平の住宅社「万科企業」が造る經濟市況の開発図案を見た。東京ドーム約倍分

商務印書館第1年の校刊(注)は一部でも存んといふほど、深圳がどんなになる様子を把握できたいからだ。

4日目は、フェリーで部のつぎ島に移動して、軍「西海軍艦隊」の火力を助けた。香港島と多々マゼランへの電力供給を助けており、軍事設備、やホイールなどの整備



文化体験と学生交流

文化体験と学生交流
見識広がり大きな収穫



海外プロジェクト探検隊

三菱商事の海外事業や現地文化を体験

■ 「海外プロジェクト探検隊」とは

このプロジェクトは、一般から公募した高校生をリポーターとして海外に派遣し、現地で体験した内容をコミック・オンラインで発表してもらうシリーズ企画。今回の「日本・東南アジアプロジェクト」は7回目となる。

現地で、三業商事が展開しているプロジェクトの視察を訪問するほか、現地の学生との国際交流や生活文化など、さまざまなプログラムを体験。未来の日本を担う高校生たちに、総合商社の仕事を真文化への理解を促し、今後社会で活躍するための糧としてもらうことを目指している。

次回は2009年春休みに実施する予定。詳細が決定し次第、随時新聞の紙面で高校生ライブ・アートを募集する。

■ 佐藤「ア」-報告会

5月13日、第3回体験プログラムの報告会が開催された。3
 プラに参加した高校生たちは、体験したプログラムをリポ
 ートし、西郷や保来で展開する三農商事のプロジェクト
 中心に、感想や学んだこと、感じたことなどを発表し
 あった。

その後の懇話会では、過去に参加したメンバーらとも交流。それぞれの自己紹介や近況報告、自分が参加した際の体験談、今回のリポートの感想などについて話が弾んだ。



毎回家ごめたりリポートを贈る



高校生リポーターWEB新聞、ヨミウリ・オンラインで公開中！

高校生リポーターの現地取材模様や感想を*WEB新聞。に掲載しています。

皆さんからのご意見、ご感想も受け付け中。過去の探検隊レポートもご覧になれますので、ぜひアクセスしてください！

GO▶ <http://www.yomiuri.co.jp/adv/tanken/>